

11月8日(木) ◎ホテルで朝食後8:30にホテルを出発。専用車にてバンクーバー空港に向かう。

空港到着後、搭乗手続きをガイドさんが行う。そしてそれぞれが、トランクを預けチェックインをして出発時間迄待つ。10:00発の予定であったが、2時間遅れて出発したのでトロントに到着したのは、19:30近くになっていた。日本人のガイドさん(女性)と運転手さんも日本人(男性)だった。夕食はホテル(シェラントロントセンター)のレストランだったので、荷物を部屋において、すぐに降りて来てレストランへ出向いた。ここでも量の多さに圧倒された。食事が終了したのが10:00近くになったので、早々に部屋に戻りシャワーを浴びてベッドに入り入眠しようとしたが、なかなか眠れなかった。

11月9日(金) 朝食後、専用車にてオンタリオ州の役所に向かう。

◎9:00~教育省にてシュウリアンさん(女性)・ジェファリーさん(男性)のお話を聞く。

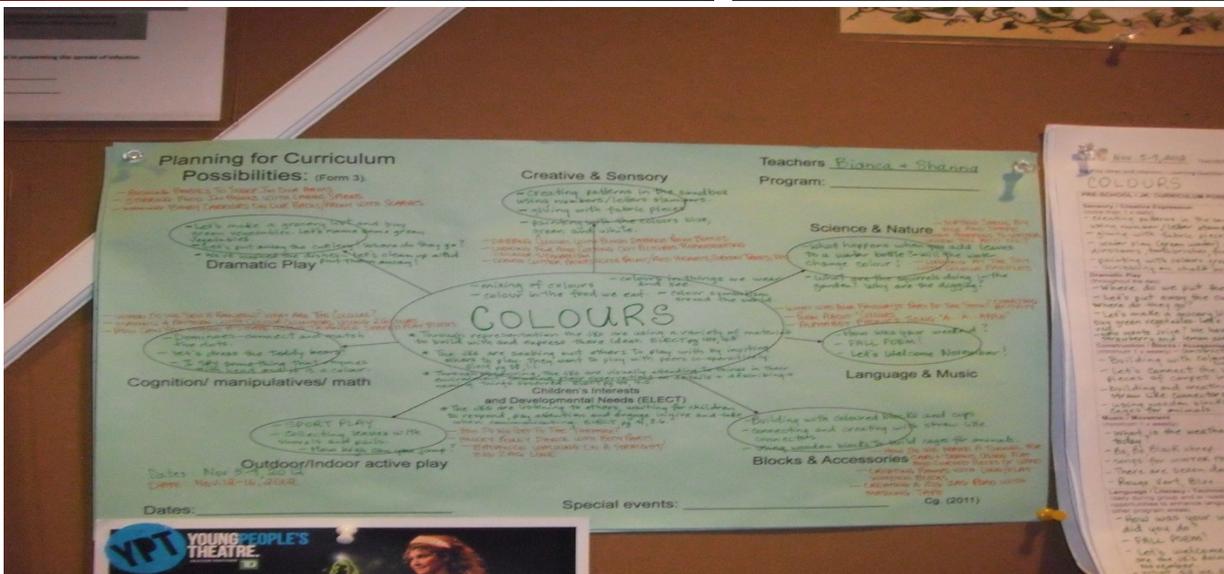
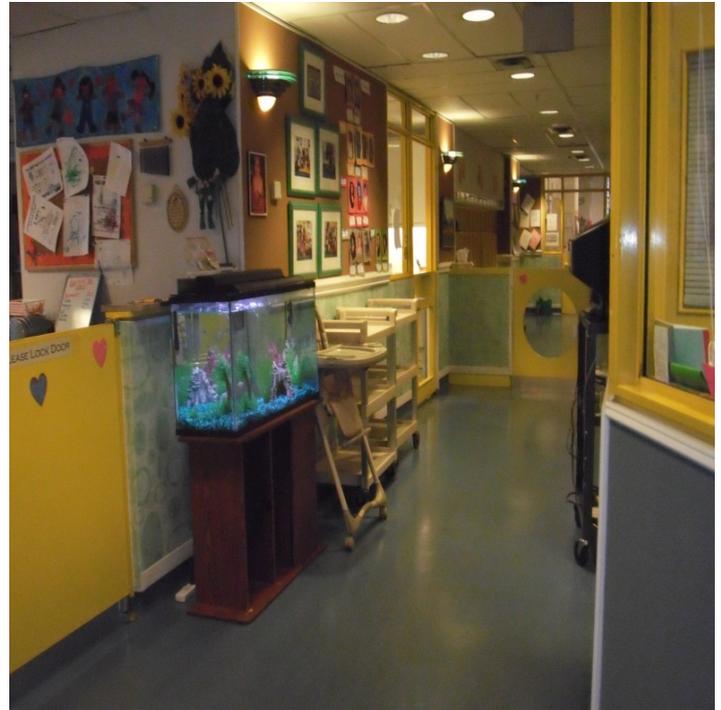
- * オンタリオ州だけではなく、カナダでは幼・保の区別なくしていきたい方向にある。
- * 以前は違う省庁にあったがチルドレンインユース→幼少期(現在は移った)
- * チャイルドケアとキンダーガーデンを同じくスムーズに移っていけるように、学校も同敷地内へ。統合した。最終目標でありシステムを構築している段階である。(世界的に！)
- * 2003年に教育関係をセンターにする(ディケアも含めて)という方向付けがなされた。
- * 教育の予算はそれぞれの市に出している。親は所得に応じて補助が出る。
- * オンタリオ州は障害に応じて出している。市を通しチャイルドケア通してを出している。
- * ディケア→法律…1946年に設立された法律に従って行われている。
- * DMA→健康・安全性を守るためのもの。
- * 省から監査する。…親・スタッフなどから苦情が出たら調査に出向く。
- * モダナイゼーション→2012年に見直しをしている。
- * 質の向上のプログラム→赤ちゃんから学校に至るまでのクオリティプログラム。
幼・保の質の差がないように！！ 保も教育を取り入れている。
95%が許認可で日本でいう公立は少ない。
- * 幼でも遊び部屋を取り入れている。…子ども達は遊びの中で学ぶことが調査結果で出ている。

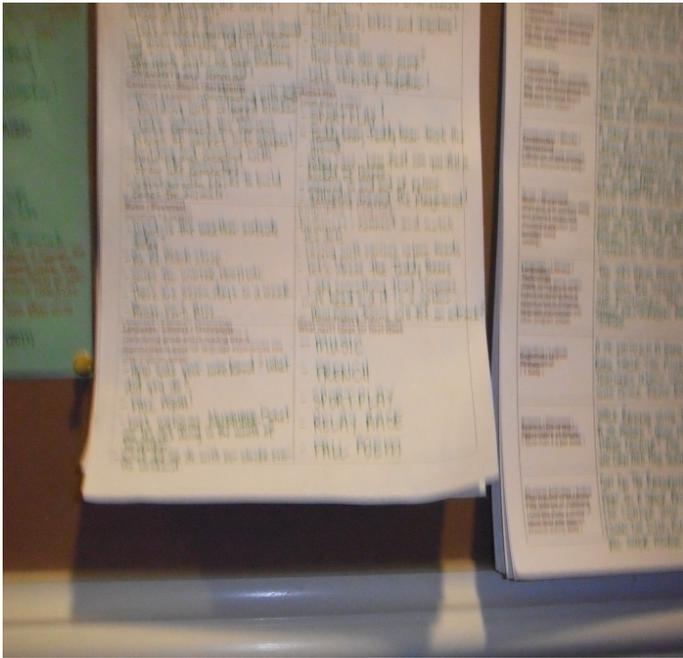
◎参考資料がある。

11月9日(金) オンタリオの FULL-DAY KINDERGARTEN に出向く。

- * トロントには700のディケアがある。
- * ゼニファさんはここの保育者ではない。(トロント市が管理を行っている)
- * 保育料を払えない人の管理も行っている。
- * クライテリア…決まりごと(プログラムを継続的に行っているか！)
- * プログラム…1年に1回見直している。(抜き打ちで立ち入り調査に来る)
- * それぞれのセンターで確認をする。(職員の給食なども含める)
- * スタッフの雇用は??…就職活動をしている人が履歴書を持参する。…面接をする。
- * 学生の実習生(ボランティア)が希望すれば行うこともある。
- * 面接で OK の人は各クラスに入る。見習い期間が6ヶ月間ある。
- * トロント市が57運営していて、ペーパーテストを行ったりもする。…英語で対応出来るか！

- * トロント市ではいろんな所が経営している。…非営利・営利・学校など又は企業
- * 職員の定着率…とても良い(16年間~4年間)
- * 保護者との連絡(コミュニティの方法は?)…それぞれの年齢に応じて個々にある。親向けに!! →その場で見て帰る。特別な子ども以外は家庭からの物は無い。
- * 保護者からのモニターペアレンツはあるか??…何人かは要求の厳しい人はいるがここはグループで見ていることを繰り返し伝える。が、それでも駄目な方は別な所を進めている。資格や経験があれば違う。
- * スタッフの勤務時間は??…8.5時間で1時間休憩なので7.5時間である。
- * 保護者は仕事が終わった人から迎えに来る。…18:00までなので1分遅刻で1ドル払う。
- * 祝日・土・日は休みである。





At the cognitive table, J.S was exploring with beads and a brown colour

